

問1 商店街の活性化を目的としたメモの中に、「銀行からの融資を受けて設備投資を行う」という資金調達の方法が記されている場合、この仕組みの説明として最も適切なものはどれですか。（2019年 群馬県公立入試 類似）

1. 企業が株式や社債を発行し、投資家から直接資金を募る方法である。
2. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。
3. 地方公共団体が発行する地方債を、住民が直接購入して資金を提供する方法である。
4. 寄付金を募り、特定のプロジェクトに対して不特定多数の個人が資金を供出する方法である。

問2 インフレーションが発生して景気が過熱している際、日本銀行が景気を抑制するために行う公開市場操作（オープン・マーケット・オペレーション）の手順と、その結果生じる金融市場の変化として適切なものはどれか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場の通貨量を減少させることで、金利を上昇させる
2. 日本銀行が民間銀行から国債を買い入れ、市場に通貨を供給することで、金利を低下させる
3. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場の通貨量を増加させることで、金利を低下させる
4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い入れ、市場の通貨量を減少させることで、金利を上昇させる

問3 銀行を中心としたお金の循環において、家計が銀行に「預金」をした際に受け取るものや、企業が銀行から資金の「貸し出し」を受けた際に元本に加えて支払う対価を何とといいますか。（2024年 島根公立入試 類似）

1. 利子
2. 利潤
3. 配当金
4. 売上

問4 日本銀行が買いオペレーションを実施した際、市場における資金の流れや経済への影響として正しいものはどれですか。（2024年 神奈川県公立入試 類似）

1. 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。
2. 日本銀行が民間金融機関に国債を売却することで、市場の通貨を回収し、物価の上昇を抑える。
3. 政府が所得税や消費税を増税することで、市場の通貨量を減らし、景気の過熱を抑制する。
4. 日本銀行が公共料金の価格を直接操作することで、消費者の購買力を高め、デフレを解消する。

問5 企業が資金を調達する方法のうち、証券会社などを通じて株式や社債を発行し、投資家から直接資金を受け取る仕組みと比較した際、「間接金融」における資金の流れを説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 金融機関が多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業に融資する仕組み。
2. 企業が投資家に対して直接経営計画を説明し、その見返りとして配当金を支払う仕組み。
3. 政府が日本銀行から直接資金を借り入れ、景気対策として市場に資金を供給する仕組み。
4. 個人が銀行を介さずに、インターネット上のプラットフォームを利用して企業を支援する仕組み。

問6 日本銀行、一般の銀行、そして企業の間で資金が循環する仕組みにおいて、日本銀行が「買いオペレーション」を実施したあとの経済への影響として最も適切な説明を選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）

1. 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。
2. 市場から通貨が回収されることで金利が上昇し、企業の過度な投資が抑えられる。
3. 政府が直接企業に資金を供給するようになり、銀行の役割が縮小する。
4. 国債の価値が下落し、銀行から企業への貸し出しが停止される。

問7 景気が過熱して物価が上がり続けるインフレーションの状態にあるとき、中央銀行である日本銀行が行う政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。
2. 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
3. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を増やすことで、利子（金利）を低下させる。
4. 日本銀行が民間銀行から国債を買い取り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。

問8 日本の中央銀行である日本銀行は、日本で唯一、紙幣（日本銀行券）を発行できる役割を持っています。この機能を何と呼びますか。（2020年 島根公立入試 類似）

1. 発券銀行
2. 政府の銀行
3. 銀行の銀行
4. 管理銀行

問9 企業が事業に必要な資金を調達する仕組みのうち、銀行などの金融機関から融資を受けるのではなく、企業が株式や債券を発行し、家計などの投資家から直接資金を調達する方式を何とといいますか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 信用創造
4. 公開市場操作

答え合わせ・解説

問1	答え 2 銀行が預金者から集めた資金を、銀行の判断と責任で企業などに貸し出す方法である。	銀行からの融資は「間接金融」に分類されます。この仕組みでは、銀行が預金者から預かった資金をまとめて管理し、審査を通じて貸付先を決定します。資金の出し手である預金者は、自分の預金などの企業に貸し出されるかを直接選択することはありません。これに対して、株式の発行などで資金を集める方法は「直接金融」と呼ばれます。
問2	答え 1 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売却し、市場の通貨量を減少させることで、金利を上昇させる	景気が行き過ぎた場合、日本銀行は「売りオペレーション」を実施します。日本銀行が国債を売って民間銀行から代金を回収することで、世の中に出回る通貨の量を減らします。お金の供給量が減ることで、資金を借りる際のコストである金利が上昇し、企業や個人の経済活動が抑制されることで物価の安定を図ります。
問3	答え 1 利子	銀行は家計から預金としてお金を集め、それを企業などに貸し出す仲立ちの役割（金融仲介機能）を担っています。この資金の貸し借りが行われる際に、借り手が元本に上乗せして支払う、あるいは貸し手が元本に加えて受け取る一定の対価が利子（金利）です。企業が事業で得た儲けである「利潤」や、株式会社が株主へ還元する「配当金」と混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 1 日本銀行から民間金融機関に資金が供給されることで、市場の通貨量が増え、金利が下がる。	買いオペレーションによって日本銀行から民間金融機関へ資金が流れると、市場全体に出回る通貨の量が増加します。資金の供給が需要を上回る形になるため、資金を借りる際のコストである金利（利率）が低下します。これにより、企業が設備投資のための資金を借りやすくなり、景気を上向かせる効果が期待されます。
問5	答え 1 金融機関が多くの預金者から小口の資金を集め、それをまとめて企業に融資する仕組み。	間接金融では、銀行などの金融機関が仲介者となります。個々の預金者の資金は少額でも、金融機関がそれらを膨大な量として集約することで、企業が必要とする多額の資金需要（調達）に応えることが可能になります。これに対し、企業が自ら市場から資金を集める方法は「直接金融」と呼ばれます。
問6	答え 1 市場の通貨供給量が増えることで金利が低下し、企業が資金を借りやすくなる。	日本銀行が一般の銀行から国債を受け取り、代わりに代金を支払うことで、銀行側の資金に余裕が生まれます。資金が豊富になれば利下げ（金利の低下）が起こり、企業は低い利息で設備投資などのための資金を借りやすくなります。このように、通貨供給量の増加から利下げへとつなげることで、経済活動を活性化させることが狙いです。
問7	答え 1 日本銀行が保有する国債を民間銀行に売り、市場の通貨量を減らすことで、利子（金利）を上昇させる。	インフレーションの際には、市場に出回る通貨の量を抑えて景気を安定させる必要があります。日本銀行が民間銀行に国債を売る「売りオペレーション」を行うと、代金として民間銀行が持つ現金が日本銀行へ回収されます。これにより市場の通貨量が減り、資金の需給関係から利子（金利）が上昇します。利子が上がると企業や個人がお金を借りにくくなるため、経済活動が抑制され物価の上昇が抑えられます。
問8	答え 1 発券銀行	日本銀行は日本の「中央銀行」としての役割を担っており、その主要な3つの機能の一つが、国内で唯一紙幣を発行できる「発券銀行」としての機能です。これにより、日本国内で流通する通貨の量を調整し、物価の安定を図る役割を果たしています。なお、硬貨（貨幣）については日本銀行ではなく政府（財務省）が発行しています。
問9	答え 1 直接金融	企業が証券市場を通じて投資家から直接資金を集める仕組みを直接金融と呼びます。これに対し、銀行が預金者から集めたお金を企業に貸し出す仕組みは間接金融と呼ばれ、日本の金融システムにおいて重要な役割を果たしてきました。直接金融では、資金を出す側が投資先を自ら選ぶという特徴があります。